

# 北見市大雪災害（2004年1月14日）について（速報）

## Heavy Snowfall Disaster in Kitami on January 14, 2004 (Urgent Report)

北見市都市建設部都市計画課

竹内 晋・藤井 裕子

City Planning Division, Department of City Construction, Kitami City

Susumu TAKEUCHI and Hiroko FUJII

### 1. はじめに

2004年1月13日夜から16日早朝にかけて、北海道地方は暴風雪や大雪に見舞われた。特に、オホーツク海側の北見地方では、アメダス観測開始以来最高の最深積雪171cmの記録的な大雪となり、地域住民の生活や物資の流通に大きな影響を及ぼした。本報告では、北見市における大雪災害に関する状況を報告する。

### 2. 大雪災害について

北見市は、北海道北東部オホーツク海沿岸地域の北見盆地の中央に位置しており、年間を通して寒暖の差が大きく、最低気温は零下20度以下まで冷え込み、最高気温は31度前後まで上がる。また、大雪山系が壁となるため台風の影響はあまり受けず、年間降水量も平均750mm程度であり、全国で最も少雨地帯となっており積雪も平均76cmで道内西部や北部に比べて少ない地域である。

2004年1月13日、日本海西部に発生した低気圧が発達しながら北東に進み、北海道の西海上を北上した。一方、本州南岸の低気圧が発達しながら三陸沖に北上し、14日朝に根室市の東海上に進み、中心気圧が964hPaと猛烈に発達した。その後、低気圧はアリューシャン方面の強い高気圧の影響で動きが遅くなり、強い勢力を保ったままゆっくりと東に進んだ。このため、網走管内では13日夜から雪が降り始め16日早朝まで降り続いた。アメダス観測史上最高の171cmの最深積雪を記録した。さらに、14日から16日にかけて北または北西の風が強く、最大風速11m/sを観測し暴風雪となった。

### 3. 被害の概要

北見市は北海道の東部網走支庁管内のほぼ中央に位置し、周囲を丘陵に囲まれた北見盆地と呼ばれる盆地である。また、常呂川とその支流である無加川が、市街地の南部を東西に流れている。

市街地を縦断する国道39号線は、明治時代に旭川と網走を結ぶ中央道路として囚人労働により開削された。明治後期に屯田兵と移民団の開拓により農村として発展し、薄荷の生産においては最盛期には世界の生産量の70%を占めた。その後、農業人口は減少したが現在は2次、3次産業を中心に発展し、平成7年に人口は11万人に達し、今日に至っている。

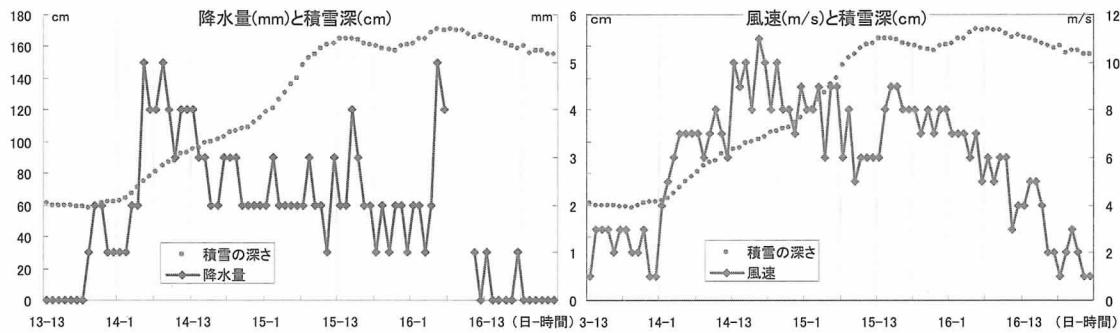


図1. 13日から16日の降水量と積雪深

図2. 13日から16日の風速と積雪深

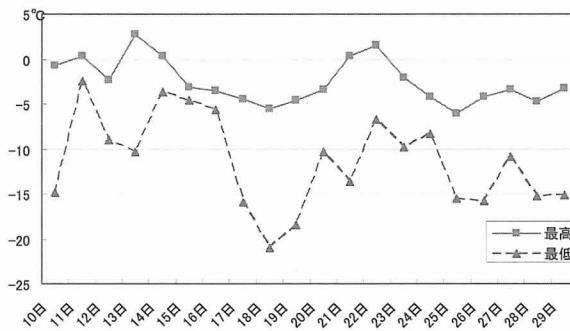


図3. 10日から29日の気温の推移

今回の大雪災害により北見市全体に影響を及ぼした被害のひとつとして、網走管内と札幌・旭川圏を結ぶ大動脈のひとつである一般国道39号線が留辺蘂町の石北峠で1月14日午前0時30分から17日午後2時まで雪崩発生の恐れのため、また一般国道333号線、240号線、242号線及び主要道道の一部も通行止め規制が行われた。この規制により北見市内及びその近郊町村への物資の輸送が止まり、スーパー及びコンビニエンスストア等において食料品の棚が空になる事態や新聞等が届かない事態が生じた。また、鉄道においても石北線、池北線共に復旧までに数日を要し、都市間の人員・物資の移動に大きな影響をあたえるものであった。

降雪による直接的被害として、農業被害では雪の荷重によりビニールハウス倒壊が118棟（うち加工施設1棟）、畜産関係施設倒壊が26棟（うち牛舎22棟、写真6）、D型ハウス破損49棟（写真5）、木造倉庫破損21棟、輸送ができないため牛乳が9,020kg廃棄（13戸）となっている。畜舎等については老朽化が進んでいたが、再建築には戸当たり1,000万円以上かかる箇所もでている。農業施設等被害額は約2億円。また、商工用倉庫等の倒壊も報告されており、地域経済総被害推定額は除雪の遅れなどによる経済活動の低下なども含めて、推定であるが40億円を超えるとみられる。

北見市の除雪路線は約1,100kmあり、14日から除雪を開始したが猛吹雪による視界不良であるため危険と判断し、一時中止した。15日から再開したが（写真7.8.9.10）、1mを超える積雪と吹き溜まりにより作業は困難を極め、幅員8m程度の生活道路においては除雪車が走行できない路線が多数あり、数日間に渡り多くの市民が家から出られない状態が続いた。救急車等の緊急車両の出動に際しては、北見市の除雪車が先導する形をとり対応した。特に独居老人、人工透析患者等は不安と恐怖のなかで過ごさなければならず、自衛隊や市職員による安否確認、救出（写真11）が行われた。また、17日、18日は北見工業大学において大学入試センター試験の実施日となっており、当日は多くの生活道路が未除雪（写真12.13）となっていたため、網走開発建設部が国道39号線を重点的に除雪を行い通行を確保し、開始時間を1時間繰り下げる実施されることになった。雪害による遅刻等はほとんどなかったが、受験生に与えた心理的負担は計り知れない。市内の小中高校においては14日から臨時休校に入り、全ての学校が再開できたのは22日からであった。しかしながら、

通学路の歩道の除雪も多すぎる雪のため進まず、未除雪路線では児童は車道を歩かねばならず、父母や教職員が通学路に立ち誘導を行い児童の安全確保に努めた。

国道39号線以外の幹線の除雪が不完全であったため、交通が国道39号線に集中し国道や主要道道の一部で大渋滞を引き起こした。市内バス路線も一時は全運休していたが、バス路線を優先的に排雪作業を進めたため徐々に通常運行していった。しかし渋滞による運行ダイヤの乱れはしばらくの間続き、全面開通するまでには約2週間を要した。

市には除雪に対する市民からの要望や問い合わせが14日から寄せられはじめ、雪が止んだ16日から18日にかけて、市職員はいつ除雪が入るのかといった多くの問い合わせ電話の対応に追われた。この間、電話は鳴りやむことなく、回線はパンクし、電話が繋がらないことが市民に一層不安と苛立ちを募らせた。19日には、幹線道路の通行は確保できたが、生活道路の除雪はいつはいるのかといった問い合わせが多くを占め、除雪が入ったが路面状態が良くない、除雪した雪の堆積への苦情も多く寄せられた。20日からは道路上の雪のざくざく状態、またはわだち等に対処するための再除雪の要望が多く寄せられ、さらに21、22日には最高気温がプラス気温となり、路面のざくざく状態とその対処の要望に拍車がかかった。25日からは最高気温が-5℃前後となり、路面状況への要望が、ロードヒーティング部分との段差やわだちの除去、ビリ砂利を撒いて欲しいなど路面凍結に関するものに移行した。また、歩道の除雪に関する要望が多く寄せられた。

また、北見市は通常、可燃ゴミについては週2回収集しているが幹線道路の渋滞や生活道路の路面の悪化により、19日から収集を再開したが全てを収集することができず、翌週から道路状況が改善されるまで週1回の収集としている。しかし、収集には通常期よりかなりの時間を要しており、ゴミ収集に関する経費は例年より7千万円以上かかると見込まれる。

15日に設置された北見市大雪災害対策本部は16日に陸上自衛隊美幌駐屯地へ災害派遣の要請を行い、運搬用ダンプ5台、雪上車3台が派遣され、16日から排雪作業、人工透析患者の救出等(写真14.15)を行い、24日まで8日間延べ111名が災害救助活動を行った。また、北海道開発局網走開発建設部と北海道網走土木現業所がそれぞれ北見市道における除排雪作業の協力や北見市内の建設業協会や測量協会などのボランティアの協力(写真16)を得て、市民生活の混乱は復旧していったが、生活道路の大部分において対面通行ができないなど市民生活への影響は残っている。また除雪に関わる経費が例年は3億円程度だが、10億円程度補正しなければならないなど、財政状況の厳しい地方自治体への今回の大雪災害の傷跡は深い。



写真 1. 雪に埋もれた北見市街

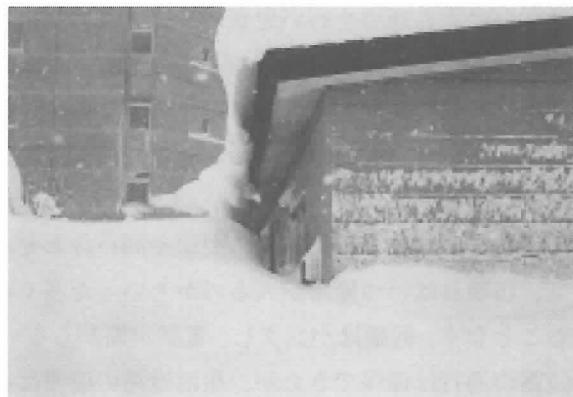


写真 2. 屋根に積もった雪



写真 3. 市民の除雪



写真 4. 雪に埋まったバス停



写真 5. 屋根が抜け落ちたD型ハウス



写真 6. 崩壊した牛舎



写真7. 市道の排雪作業



写真8. 市道の除雪作業



写真9. 歩道の除雪作業



写真10. 市道の除雪作業



写真11. 市職員による高齢者宅等の除雪



写真12. 雪に埋もれた生活道路



写真13. 雪に埋もれた生活道路



写真14. 自衛隊の協力による排雪



写真15. 自衛隊の雪上車による透析患者の救出



写真16. 建設業協会による除雪

#### 4.まとめ

本報告では、北見市における大雪災害の状況について速報した。人的被害や施設被害のほか、交通機能の麻痺など大きな災害をもたらした今回の大雪は、同時に、市民に対し心理的にも被害をもたらした。独居老人や人工透析患者等はもちろん、健康な市民でさえ、いつ家から出られるか、FFストーブの排気口への配慮、灯油の残量などの不安が市役所に寄せられる電話の中で心理的負担として読み取れた。今回の災害では、このような多くの被害とともにまた多くの課題も与えられた。

※数値は速報値を使用しているため、修正することがあります。